

Weekly コラム

平成 30 年 3 月 27 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会)

Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

デジタル薬

鎮痛剤の乱用による中毒が米国で問題となっています。特に中毒になりやすいモルヒネやヘロインなどのオピオイド系鎮痛剤によって、毎日 140 人が亡くなっており、異例の非常事態宣言をトランプ大統領がするほど社会問題化しています。米経済諮問委員会は 2015 年にオピオイド中毒による経済損失が約 5040 億ドルと報じました。さらに、オピオイドが関係する米国内の死亡件数は 15 年間で約 4 倍、中毒者は 190 万人とされています。薬の乱用が深刻な社会問題となる中、応用できればこの問題を解決してくれるものが、世界で初めて実用化されました。

それは医療品と医療機器を一体化したデジタル薬「エビリファイマイサイト」です。大塚製薬が製造、販売する統合失調症などの治療に使用される抗精神病薬エビリファイに、米プロテウス・デジタル・ヘルス社が開発した数ミリのチップを組み込んだ錠剤です。胃の中に入った錠剤が溶けると、胃液に反応してチップのセンサーが信号を出します。そして、患者の腹部に貼り付けた受信の検出器が信号をとらえ、検出器から服薬した情報が患者のタブレット端末に転送され、専用アプリを通じて医師や介護者、家族が確認できる仕組みです。また、他にも服用量、運動量、脈拍、睡眠パターンなども記録可能です。そして、チップは一定時間経てば、体内で消化されずに排泄されるので安全です。

統合失調症患者の 4 割は退院後、半年で薬を飲まなくなり、病気が悪化したり入退院を繰り返したりします。また、米国では服薬が原因

で年間 1000 億ドルもの過剰な医療費が生じていると試算されています。デジタル薬は米食品医薬品局から製造販売承認を取得済みで、今年の春頃にも米国で販売が開始される予定です。現時点では薬を指示通りに服薬することが最も適切な治療法であり、服薬を追跡することで医療費抑制にもつながります。ただ、プライバシーの観点から、全ての患者が追跡されることに同意するとは限りません。政府や保険会社が患者の情報を得ることが可能になり、利用される可能性があるからです。課題はありますが、今のところデジタル薬は米国だけでの販売予定で、またエビリファイマイサイトですが、世界各国へ拡大することや鎮痛剤オピオイドなどの他の薬にも応用されれば大きな恩恵があると考えられます。

日本でも薬の飲み忘れで病気が悪化、再入院し、毎年 10 兆円以上の社会的損失が生じている試算があります。世界各国で薬の飲み忘れや中毒で医療費の増大が問題視される中、タブレット(錠剤)とタブレット(端末)を持って服薬する「デジタル薬」は、個人の病気だけでなく、経済をも治療するひとつの手段になるかもしれません。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。